



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月28日

上場会社名 株式会社テラプローブ 上場取引所 東
 コード番号 6627 URL <http://www.teraprobe.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 雄一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 CFO (氏名) 神戸 一仁 (TEL) 045-476-5711
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	17,220	7.8	2,297	175.9	2,125	157.3	409	—
27年3月期第3四半期	15,971	△2.8	832	44.6	826	48.1	△562	—

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 470百万円(4.3%) 27年3月期第3四半期 450百万円(△52.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	44.07	—
27年3月期第3四半期	△60.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	35,264	23,895	58.5	2,222.08
27年3月期	35,324	23,591	57.7	2,193.96

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 20,626百万円 27年3月期 20,365百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,400	5.1	2,500	88.0	2,300	76.1	250	—	26.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

28年3月期3Q	9,282,500株	27年3月期	9,282,500株
28年3月期3Q	145株	27年3月期	104株
28年3月期3Q	9,282,359株	27年3月期3Q	9,282,412株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、当四半期決算短信にあわせて、決算補足説明資料を当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11
(5) 重要な後発事象	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出・生産面に新興国経済の減速の影響があったものの、緩やかな回復が継続しております。海外においては米国では緩やかな経済成長が続いている一方、中国では景気減速や株式市場の下落が発生するなど、全体的に力強さに欠ける展開になっております。

当社グループが属する半導体業界におきましては、PCやタブレットの出荷数量の低迷、スマートフォンの成長鈍化により、需要が伸び悩む傾向にありました。

このような状況の下、当社グループでは安定した稼働を実現するために生産体制の見直しや費用削減などの努力を重ねました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は17,220百万円(前年同期比7.8%増)、営業利益は2,297百万円(前年同期比175.9%増)、経常利益は2,125百万円(前年同期比157.3%増)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は409百万円(前年同期は562百万円の損失)となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。なお、セグメント別の業績には連結調整額、為替換算レート調整額及びセグメント別に配分されない費用を含んでおりません。

① メモリ事業

当第3四半期連結累計期間のメモリ事業は、前年同期と比較して売上高が生産ミックスの変化などにより減少したことから、これに対応した費用の削減を進めました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間のメモリ事業の売上高は10,362百万円(前年同期比6.4%減)、セグメント利益は2,957百万円(前年同期比13.6%増)となりました。

② システムLSI事業

当第3四半期連結累計期間のシステムLSI事業は、前年同期と比較してテスト受託では受託数量の増加による売上高の増加で減価償却費の増加を吸収し、WLP受託では受託数量の増加に加えて昨年度実施した構造改善による費用構造の改善もあり、売上高、利益ともに増加いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間のシステムLSI事業の売上高は6,635百万円(前年同期比40.8%増)、セグメント利益は324百万円(前年同期は886百万円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は35,264百万円となり、前連結会計年度末比60百万円の減少となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が978百万円、有価証券が999百万円それぞれ増加し、一方、有形固定資産が2,154百万円減少したことによるものです。

負債は11,369百万円となり、前連結会計年度末比363百万円の減少となりました。これは主に、設備投資の資金として長期借入金が増加しましたが、返済によりリース債務が1,086百万円、設備購入代金の支払等によりその他流動負債が587百万円それぞれ減少したことによるものです。

純資産は23,895百万円となり、前連結会計年度末比303百万円の増加となりました。これは主に、為替換算調整勘定が151百万円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益を409百万円計上したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は8,034百万円となり、前連結会計年度末比1,154百万円の増加となりました。

当第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、4,948百万円の純収入（前年同期比2.6%の収入減）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の計上1,012百万円、減価償却費の計上3,950百万円、減損損失の計上1,122百万円により資金が増加しましたが、売上債権の増加1,039百万円、事業構造改善費用の支払411百万円等により資金が減少したことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、3,938百万円の純支出（前年同期比24.0%の支出減）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出4,215百万円により資金が減少したことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、172百万円の純収入（前年同期は538百万円の純支出）となりました。これは主に、リース債務の返済による支出が2,026百万円となりましたが、長期借入金の増加1,322百万円、セール・アンド・リースバック取引による収入988百万円に伴い資金が増加したことによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期第4四半期における半導体市場につきましては、高機能スマートフォンの需要の伸び悩みや中国経済の一段の減速による影響を受け、生産や在庫の調整が見込まれております。

このような状況のもと、当社グループにおいては、既存品の受託量の減少や生産ミックスの悪化などによる売上高の減少を見込んでおります。

これらの結果、当社グループの通期の業績は、売上高が22,400百万円、営業利益が2,500百万円、経常利益が2,300百万円、当期純損益は250百万円と予想しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号平成25年9月13日)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。

当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,980,411	4,134,686
受取手形及び売掛金	4,407,704	5,386,201
有価証券	4,899,601	5,899,517
製品	36,093	58,516
仕掛品	209,823	307,337
原材料及び貯蔵品	135,390	174,002
その他	697,579	645,537
流動資産合計	14,366,604	16,605,799
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	11,728,421	11,570,948
その他(純額)	8,213,768	6,217,097
有形固定資産合計	19,942,189	17,788,045
無形固定資産	424,875	312,859
投資その他の資産		
その他	591,116	557,534
貸倒引当金	△96	△91
投資その他の資産合計	591,019	557,443
固定資産合計	20,958,085	18,658,348
資産合計	35,324,689	35,264,147

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,448,554	1,606,243
短期借入金	1,097,535	1,139,819
1年内返済予定の長期借入金	-	40,000
リース債務	2,200,501	1,028,153
未払法人税等	225,464	317,713
引当金	510,974	438,716
その他	2,476,170	1,889,102
流動負債合計	7,959,200	6,459,748
固定負債		
長期借入金	2,067,973	3,210,001
リース債務	867,399	953,424
退職給付に係る負債	194,042	181,598
その他	644,180	564,283
固定負債合計	3,773,596	4,909,308
負債合計	11,732,796	11,369,056
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,823,312	11,823,312
資本剰余金	11,380,267	11,380,267
利益剰余金	△3,326,324	△2,917,254
自己株式	△84	△128
株主資本合計	19,877,171	20,286,197
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	506,103	354,788
退職給付に係る調整累計額	△18,070	△14,885
その他の包括利益累計額合計	488,032	339,902
新株予約権	-	22,201
非支配株主持分	3,226,688	3,246,789
純資産合計	23,591,892	23,895,091
負債純資産合計	35,324,689	35,264,147

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	15,971,270	17,220,282
売上原価	13,450,083	13,155,634
売上総利益	2,521,186	4,064,648
販売費及び一般管理費	1,688,320	1,766,718
営業利益	832,866	2,297,929
営業外収益		
受取利息	6,547	5,942
設備賃貸料	44,757	39,544
その他	112,844	46,668
営業外収益合計	164,149	92,154
営業外費用		
支払利息	80,989	74,165
支払補償費	56,184	143,214
その他	33,729	47,472
営業外費用合計	170,904	264,851
経常利益	826,110	2,125,232
特別利益		
固定資産売却益	41,553	60,998
特別利益合計	41,553	60,998
特別損失		
固定資産除却損	12,846	5,148
減損損失	34,336	1,122,554
事業譲渡損失引当金繰入額	-	45,540
事業構造改善費用	791,426	-
特別損失合計	838,609	1,173,242
税金等調整前四半期純利益	29,054	1,012,988
法人税等	238,542	249,214
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△209,487	763,774
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△562,283	409,070
非支配株主に帰属する四半期純利益	352,796	354,704
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	654,313	△296,696
退職給付に係る調整額	5,855	3,185
その他の包括利益合計	660,169	△293,510
四半期包括利益	450,682	470,263
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△222,727	260,940
非支配株主に係る四半期包括利益	673,409	209,323

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	29,054	1,012,988
減価償却費	4,024,657	3,950,446
減損損失	34,336	1,122,554
事業構造改善費用	791,426	-
株式報酬費用	-	22,201
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△229,910	△5
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	29,541	△12,443
引当金の増減額 (△は減少)	△245,716	△110,948
受取利息	△6,547	△5,942
支払利息	80,989	74,165
設備賃貸料	△44,757	△39,544
支払補償費	56,184	143,214
固定資産除売却損益 (△は益)	△28,707	△55,850
売上債権の増減額 (△は増加)	△857,585	△1,039,147
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	636,727	15
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△9,104	△163,547
仕入債務の増減額 (△は減少)	518,163	542,297
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△110,421	△86,463
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	303,655	253,494
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	△102,075	71,917
その他	31,200	29,583
小計	4,901,114	5,708,986
利息の受取額	6,537	6,375
利息の支払額	△79,719	△74,985
補助金の受取額	409,711	61,758
損害賠償金の支払額	△55,893	△26,115
法人税等の還付額	1,852	15,093
法人税等の支払額	△101,132	△330,273
事業構造改善費用の支払額	-	△411,935
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,082,468	4,948,903
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,800,000	△4,000,000
定期預金の払戻による収入	2,000,000	4,000,000
有価証券の償還による収入	500,000	-
有形固定資産の取得による支出	△3,945,966	△4,215,155
有形固定資産の売却による収入	84,409	279,857
無形固定資産の取得による支出	△48,461	△37,160
設備賃貸料の受取額	38,216	42,728
その他	△12,689	△8,486
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,184,490	△3,938,216

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	211,392	1,583,110
短期借入金の返済による支出	△1,180,185	△1,506,220
長期借入れによる収入	1,893,403	3,762,923
長期借入金の返済による支出	-	△2,440,397
自己株式の取得による支出	△21	△43
リース債務の返済による支出	△1,988,615	△2,026,043
セール・アンド・リースバック取引による収入	525,229	988,400
非支配株主への配当金の支払額	-	△189,222
財務活動によるキャッシュ・フロー	△538,796	172,505
現金及び現金同等物に係る換算差額	108,684	△29,002
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△532,134	1,154,189
現金及び現金同等物の期首残高	7,882,336	6,880,013
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,350,202	8,034,203

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	合計 (注)2
	メモリ事業	システム LSI事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,077,023	4,711,844	15,788,867	182,402	15,971,270
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	11,077,023	4,711,844	15,788,867	182,402	15,971,270
セグメント利益又は損失(△)	2,603,506	△886,418	1,717,087	△884,221	832,866

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△884,221千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,004,418千円、連結消去76,521千円、円換算に用いた為替相場の相違による差異調整額43,675千円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに属していない一般管理費です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

「2. サマリ情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より退職給付債務及び勤務費用の計算方法を変更したことに伴い、事業セグメントの退職給付債務及び勤務費用の計算方法を同様に變更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の「メモリ事業」のセグメント利益が3,620千円増加し、「システムLSI事業」のセグメント利益が7,157千円増加し、「調整額」のセグメント利益が2,268千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

システムLSI事業

青梅事業所において、事業の構造改革に伴い廃棄する予定の固定資産について減損損失を計上しており、特別損失の事業構造改善費用に含めて表示しております。なお、当該損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては110,385千円であります。

また、九州事業所において、当初予定していた用途での利用見込みがなくなった固定資産について、処分予定資産として帳簿価額を回収可能額まで減損し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては34,336千円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	メモリ事業	システム LSI事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,362,757	6,635,324	16,998,081	222,201	17,220,282
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	10,362,757	6,635,324	16,998,081	222,201	17,220,282
セグメント利益	2,957,650	324,665	3,282,315	△984,385	2,297,929

(注) 1. セグメント利益の調整額△984,385千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,172,146千円、連結消去144,506千円、円換算に用いた為替相場の相違による差異調整額43,255千円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに属していない一般管理費です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

メモリ事業

当初予定していた用途での利用見込みがなくなった固定資産について、処分予定資産として帳簿価額を回収可能額まで減損し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては9,367千円であります。

システムLSI事業

当初予定していた用途での利用見込みがなくなった固定資産について、処分予定資産として帳簿価額を回収可能額まで減損し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては12,999千円であります。

また、ウエハレベルパッケージに関する事業の譲渡を決議したことに伴い、固定資産の帳簿価額を回収可能額まで減損し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては1,100,186千円であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。